

## ご意見・ご感想について

施工に施工員が伺った際にお客様が気付いた点や、改善して欲しい所、FCCニュースやメールマガジンに掲載して欲しいテーマなど、ご意見・ご感想をFCCでは募集しております。

施工に入る時は、こうして欲しい・ここは気をつけて欲しいなど細かなポイントも、ご意見頂けると幸いです。

ご意見・ご感想は、お手数お掛けしてしまう形になってしまいますが、下記メールアドレスにお送り下さいますようお願い申し上げます。

皆様のご意見とご感想をお待ちしております。

ご意見・ご感想はこちらまでお願い致します。

info@fccsystem.co.jp



## 新コーナー始めました！

FCC11月号より、FCCの代表取締役 深澤正司と社員のブログに投稿されている記事の一つずつ、掲載する事になりました。

今回は、FCCの代表取締役 深澤正司のブログ『**湘南ではたらく小さな会社の社長のblog**』と施工部3課のリーダー 阿部係長の『**Aちゃんブログ**』の記事の一つずつピックアップし、掲載しております。

ブログの記事を通して、FCCにどんな人間がいるのか、どんな事を考えているのか、仕事や施工に取り組んでいるかなどを感じて頂けると幸いです。

また、FCCのホームページでは、代表取締役の深澤正司のブログを始め、施工現場について、点検やアフターサービスについて、営業担当、施工部員、各々の目線で様々な記事を投稿しております。

FCCニュースだけではなく、弊社ホームページからでも是非、FCCにはどんな社員がいるかなど、ブログを通して知っていただければと思います。

## FCCエコ委員会からのお知らせ

FCCニュース6月号でご紹介しましたエコキャップの収集活動ですが、皆様のご協力のおかげで、現在65181個のキャップが集まりました。ご協力頂きまして、誠にありがとうございます。



引き続き、FCCはエコキャップの収集活動を行って参ります。

キャップは400個で10円になり、20円(800個)で1人分のワクチンになります。また、キャップ400個ををゴミとして捨ててしまうと、3,150gのCO2が発生してしまうのです。

地球の環境にも良い事は勿論、何よりワクチン不足の所為で消えてしまう子供の命が救える活動です。

是非、ご協力をお願い申し上げます。ご連絡をお待ちしております。

エコキャップについてのご連絡はこちらへ

TEL：0466-31-3164  
メールアドレス：info@fccsystem.co.jp



# FCC News

## 2009年11月号

NO.0069



- 目次 -

ご意見・ご感想について

新コーナー始めました！

エコ委員会からのお知らせ

FCCブログ

FCC Systemについて

季節のムシ暦(24)

地球の環境衛生を創造する  
**株式会社 FCC**  
fine, comfortable & creative

## 株式会社 FCC

住所：神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

電話 0466-31-3164

FAX 0466-31-3174

URL http://www.fccsystem.co.jp

E-mail info@fccsystem.co.jp

### 社長ブログより

『**湘南ではたらく小さな会社の社長のblog**』

### 異物混入

月に一度、農学博士であり弊社顧問の林先生にペストロジ講習会を開催して頂いております。



害虫や昆虫は異物混入になります。調理中の鍋やフライパンや調味料までにも簡単に入り込みます。だから我々の様なPCO業者が駆除し、また清掃や片付けや保管や衛生の啓蒙も必要になります。

ですので弊社の施工スタッフは施工員ではなく、環境衛生コンサルタントを目指そう、と言ってます。ペストロジ講習もその一環です。

しっかりした飲食店には、衛生マニュアルがあります。大手には、こんな項目もあるらしいです。

「スタッフとの良好な人間関係は築けているか？」

何故こんな項目があるのか分かりますか？



スタッフの恨みや嫌がらせが起きないように人間関係を築け、と言う訳です。裏を返せば、人間関係が構築できていないと、恨みや嫌がらせで異物混入の原因になるってことです。

今の日本人には道徳がないのか！って思ってしまいます。マニュアルに載せなくとも、人間関係以前の問題だろう～って思いますが… 呆れる

道徳とは別に、天に唾をかけるとどうなるか？昔は親や祖父母や年長者が教えてくれました。鏡の法則です。全ては自身に降りかかりますって！

社員に言います。叱られた時、怒られた時が人間性です。非礼で返すな！と。反対に叱る方も、怒る方も、考えなければいけない。

エゴでないか？自尊心をぶつけているだけでないか？機嫌が悪だけでないか？相手を思っているのか？怒りか？

全ての行いは自分に返って来ると分かりました。この法則を今は私も知っています。

### 代表取締役 深澤 正司 プロフィール



日々勉強！精一杯社長しています。

#### 自己紹介文

東京出身ですが趣味のサーフィンが高じて湘南藤沢に移り住み脱サラ開業10数年です。微力ながら地球の環境に貢献したい、そして社員を含め1人でも多くの幸せな人生に関わりたい。そんなことを真剣に考えています。

#### 興味のあること

環境、自然、人、犬、サーフィン、武道、格闘技、音楽、読書

### 社員ブログより

『**Aちゃんブログ**』

### 共通点と自分勝手

深澤社長から、様々な本を紹介して頂き読ませていただいています。

普段と言うか、FCC入社前は全く本を読まない私もここ数年でちょっとは、理解度や、速度があがったように思っています。

ここで感じるのは、どの本も根本は似ていると言う事。もちろん言い回しや過程は、全く違います。

でも感じる感想や、感動した事柄、根本な思想は変わらない気がします。

いつも感じるのは、十人十色はある意味あっていて、ある意味間違っているのかなって。とらえかたなのかなって感じます。

何でもあり。俺は俺。

10代の頃の話しですが、人間いろいろな思想があり、色々な思いはあるけれど行き着く所って皆同じ方向だと思っていました。

ある意味今もそう思うところはありますが、ここに来て変化が多々あります。

幸せという物を富士山で表せば、どこから登り、どのように登るかは自分次第です。人を蹴をとしてまで自分だけで登るのか、人の手を引いて頂上まで登るのか、どっちで生きると尋ねられれば、もちろん手を引き合って生きたいです。

損得感情なしに、人のために行動出来たり、同じ温度で喜び悲しみ合えれば少なくとももっと今よりも幸せになれるのかぁなんて思います。

まだまだ20代半ばの若輩者です。

もっともっと勉強。。。

人間の幅を広げて生きたいと思います。





【厨房の清潔具合を物語るチャタテムシ(茶柱虫)】

一般に、「虫」と言うと全部が、悪いものと思う人がすくなくない。しかし、虫も視点を代えて眺めると、人にとって大切な仲間なのだと云えるものもすくなくない。

そんな虫の一つに、「チャタテムシ」と云う小さな虫が居る。今回は、この虫について紹介する。

チャタテムシとはどんな虫

この虫、「茶立て虫」と表現すると、なんとも風流な虫名である。こんな虫が居るなど、知る人はかなり少ないと思う。

しかし、「黴臭い本」などを開いた時、1ミリにも満たない白い小さな虫が、足早に歩くのを眼にすることがある。

あるいは、古い段ボール箱の表面をチヨロチヨロと歩く虫に気付くのではと思う。因に、この虫の外国名が、booklice(本のシラミ)である。また、中国では「紙箱虫」などと云うようだ。

気付かないだけで、意外にも身近な虫なのである。

この虫は、分類上では、嚙(ゴウ)虫目(チャタテムシ目)に属し、シラミに近い虫である。

世界に広く分布し、日本でも約92種の仲間が知られている。

この虫の特徴は、体長が0.2から10ミリと小型であるが、大きな頭と長い触角をもっていることである。

それに、「口」は、咬む型の咀嚼式(ソシヤク)で、空気中の水蒸気を体にとり込むことが出来る構造になっている。



【写真説明】  
室内環境の異常を伝えるチャタテムシ

この虫の生態は、自由生活者であって、野外の生活、生息場所が樹葉上、樹皮上、樹皮下、岩の上、鳥獣・昆虫の糞、高湿の菌類、地衣類の生えている所にすむ。

この虫は、卵から幼虫になって、脱皮をくり返して成虫になる生活史である。蛹の時期の無い、不完全変態と云う生活スタイルをとる。

幼虫の型のまま、成虫になるが、その形状は、図の通りである。

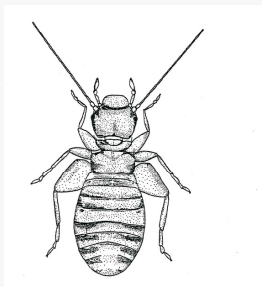


図 チャタテムシの形態(0.25mm)

生活の場のチャタテムシ

チャタテムシの殆んどは、野外生活種であるが、屋内性のものもあって、これが害虫であつたり役立つ虫であつたりする。

屋内性チャタテムシの習性は、高湿な暗所を好み生棲するが、空気の流れを嫌い、湿気を好むわりに、水との直接の接触をさける。

食性は、食菌性で発生した菌類、藻類、微粉状の植物性有機物、動物標本類、虫の脱皮殻などを摂食する。

チャタテムシは、穀物の貯蔵場所に発生し、食害や汚損をもたらす。また、食品類に混入して異物混入事故をもたらす。

ヒラタチャタテムシは、湿度の高い「カビ」の生え易い環境では、大発生し壁や畳一面を覆う事もある。

チャタテムシの発生は、屋内が屋内環境として好ましく無い湿度に達した時に発生するので、室内環境指標種といえる。

チャタテムシは、湿度の異常と「カビ」の発生を告げるもので、環境衛生の信号的な役割を持っている。

室内種チャタテには、ツヤコチャタテ、オオツヤコチャタテ、ユチャタテ、トガリチャタテ、ヒラタチャタテ、カツブシチャタテ、ホンチャタテなどが知られている。

チャタテムシの発育速度は、卵期間がおおよそ6〜8日間、雌は発育期間が18日前後で、6歳を経て成虫となる。

雄は、約13日間で3歳を経て成虫となるようだ。雌は、1日に1〜3個程度産卵し、一生の産卵数は約200個程度である。寿命は、6ヶ月内外である。

チャタテムシは、害虫というよりも、環境のクリーン度を示すものである。この虫が発生しないように「5S」を徹底する事が大切である。

もし、この虫が発生したら「清掃手順」を見直すことである。今から越冬するので、予防清掃を実施してください。

ゴキブリ(ゼロ)を実現する

FCCSystemについて

年間完全保守契約の流れ

FCCSystemは、FCC独自のノウハウを駆使し、徹底して施工を行い、ゴキブリ(ゼロ)を実現するプログラムです。年間一度の本施工(初回施工)と半年後のメンテナンス施工をメインに確実駆除を保証します。

ゴキブリが出てから行う一時的な駆除ではなく、当社はゴキブリがいない状態を継続させます。

事前調査

現場の調査・診断  
現場の調査、診断にお伺いし、施工面積(床面積とは異なります)、店舗状況を踏まえ、お見積り書を発行いたします。勿論、お見積りは無料とさせていただきます。

ゴミの掻き出し作業

ゴキブリの餌と発生源をシャットアウトする為、まず始めに水で流しても取り切れない厨房内のゴミや残留物を専用の掻き出し棒を用いて除去します。この作業はゴキブリ以外の害虫の発生源対策の意味も含まれます。

巣の発見

ゴキブリは人の目につかない機械装置のモーター部分や配電盤の中、冷蔵庫扉のパッキンの間、洗浄機等に巣を作って生息しています。この巣を確実に発見し、きれいにゴキブリの卵や糞を除去します。

コーキング剤(駆除クリーム)施工

本施工(初回施工)で最低でも2〜3時間かけ、徹底して施工します。

巣を中心にゴキブリの通り道を含め数名でコーキング剤を施工します。弊社使用のコーキング剤は、植物性で人体に優しく、無臭で、殺虫剤の噴霧等で生まれるゴキブリの抵抗性が全くありません。

※発生が著しい店舗様に於いては、味と成分が異なる2〜3種類の医薬品ベイト剤を併用し、食べ飽きを防ぎます。

※ゴキブリはコーキング剤を食べる事により、脱水症状を起こし、排水溝で死んでいきます。

初回施工

1ヶ月後

1ヶ月後の状況調査

初回施工後、約1カ月後で殆んどのゴキブリを見かけなくなります。

(この時点で調査を実施し、まだ巣が残っている様であれば、その部分を再施工します。その場合はその後、ゴキブリがいなくなるまで、再施工を行います。)

半年後

半年後のメンテナンス施工

半年後の再調査を実施し、ゴキブリが食べて減ってしまったクリームや、剥がれてしまったクリームをメンテナンスにて補います。

1年後以降

更新

弊社のコーキング剤は約1年間効果を発揮し、駆除率ほぼ100%を実現しておりますので、1年後の契約終了の際には既にゴキブリのいない状態になっておりますが、そのいない状態を維持する為には、古いコーキング剤を全て剥がし、新しいコーキング剤を施工し直さなければなりません。当社の使命は害虫が出たから駆除する、というスタンスではなく、衛生的な環境を常に保ち、創造していくことと考えております。

弊社は年間完全保守管理体制にしております。

契約期間中に、万が一ゴキブリが発生してしまった場合、一報頂ければ再びゴキブリ(ゼロ)になるまで責任を持って対処します。

但し弊社のコーキング剤の効果は1年間有効です。その為、偶発的に侵入したゴキブリも弊社のコーキング剤を食べて死んでいきますので、あまり慌てず、暫く様子を見てください。